

2010年11月2日

各 位

会社名 株式会社 テレビ東京ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 島田 昌幸
(コード番号: 9413 東証第1部)
問合せ先責任者 取締役 三宅 誠一
(Tel. 03-5473-6358)
<http://www.txhd.co.jp>

子会社(テレビ東京ブロードバンド株式会社)の
2011年3月期第2四半期決算について

当社の事業子会社 テレビ東京ブロードバンド株式会社の 2011年3月期第2四半期決算が確定しましたので、下記の通りお知らせします。

記

1. 事業子会社について

- | | |
|------------|--|
| (1) 名称 | テレビ東京ブロードバンド株式会社 |
| (2) 属性 | 連結子会社 |
| (3) 本店所在地 | 東京都港区虎ノ門四丁目3番9号 住友新虎ノ門ビル 7F |
| (4) URL | http://www.txbb.jp |
| (5) 設立 | 2001(平成13)年3月1日 |
| (6) 代表者の氏名 | 代表取締役社長 加藤 雅夫 |
| (7) 資本金 | 14億8,350万円 |
| (8) 事業の内容 | キャラクター、アニメ、放送等の分野での人気コンテンツの権利獲得、モバイル&インターネットでのコンテンツ配信及び関連する周辺権利のビジネス展開 |
| (9) 株式保有比率 | 100% (2010年10月1日現在) |
| (10) 決算期 | 3月31日 |

なお、テレビ東京ブロードバンド株式会社は株式移転による経営統合に伴い、2010年9月28日に上場廃止となっております。

2. 添付資料

- テレビ東京ブロードバンド株式会社 平成23(2011)年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

以 上



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年11月2日

会社名 テレビ東京ブロードバンド株式会社 URL <http://www.txbb.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 雅夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理財務担当 (氏名) 渡辺 豪 TEL 03-5733-3888
 半期報告書提出予定日 平成22年12月22日 配当支払開始予定日 -

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	1,139	3.8	15	86.0	21	81.5	17	80.1
22年3月期第2四半期	1,184	-	111	-	114	-	88	-

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第2四半期	515	43	-	-
22年3月期第2四半期	2,589	43	-	-

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
23年3月期第2四半期	1,367		1,014		74.2		29,752	25
22年3月期	1,323		996		75.3		29,236	81

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 1,014百万円 22年3月期 996百万円

2. その他(詳細は、[添付資料]3ページ「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用: 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更: 有

以外の変更: 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

23年3月期2Q	34,100株	22年3月期	34,100株
23年3月期2Q	-株	22年3月期	-株
23年3月期2Q	34,100株	22年3月期2Q	34,100株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・当社は、株式会社テレビ東京及び株式会社BSジャパンと、平成22年10月1日をもって株式移転により共同持株会社を設立しております。
- ・株式会社テレビ東京ホールディングスの業績見通しについては平成22年11月2日公表の「テレビ東京ホールディングス 通期業績予想について」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(第2四半期累計期間)	5
(第2四半期会計期間)	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(平成22年4月～9月)の日本経済は、厳しい環境の続くなか、緩やかではありますが景気回復傾向を維持しています。政府も当期間中、景気を持ち直しの判断を継続し、自立的回復への動きにも言及していますが、その一方で、景気を下押しするリスクへの警戒感も示しており、一層の注視が必要な状況です。

このような経済状況の下で当社は、前事業年度に引き続き、テレビ東京グループのIT戦略企業として、株式会社テレビ東京(以下、テレビ東京)との業務提携を深め、モバイル&インターネット分野へ経営資源を集中投下する施策を推進いたしました。当第2四半期会計期間においては、各事業のスクラップ&ビルドの継続、とりわけ新規サービスの投入に注力いたしました。

その結果、当第2四半期累計期間における経営成績は、売上高1,139,853千円(前年同四半期比3.8%減)、営業利益15,648千円(前年同四半期比86.0%減)、経常利益21,205千円(前年同四半期比81.5%減)、四半期純利益17,576千円(前年同四半期比80.1%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、セグメントの概要については、7ページ「(4)セグメント情報」をご覧ください。

コンテンツ事業

当事業におきましては、前事業年度に投入したモバイル向けコンテンツ配信サービスの拡充を図るとともに、新たなサービスを積極的に展開しました。

平成22年7月に、スヌーピーのきせかえコンテンツ専門サイト「きせかえSNOOPY」の3キャリア展開を開始しました。また、平成22年9月には「リサとガスパール」の装飾メール専門サイト「リサとガスパール・デコ」の配信を開始しました。

その結果、売上高は617,157千円、営業利益は60,897千円となりました。

クロスメディア事業

当事業におきましては、前事業年度に投入したモバイル向けコンテンツ配信サービスの拡充を図るとともに、テレビ東京との番組連動施策を積極的に展開しました。

平成22年7月より、テレビ東京が放送するアニメ「家庭教師ヒットマンREBORN!」と連動し、アニメ公式携帯サイト「REBORN!アニメモバイル」にて、キャラクターの着ボイスプレゼントキャンペーンを実施、また、平成22年8月に、株式会社BSジャパン(以下、BSジャパン)、テレビ東京で放送された番組「What a wonderful world!美しい地球への讃歌」のiPhone、iPad向け電子写真集アプリケーションの配信を開始しました。

その結果、売上高522,696千円となりましたが、事業体制強化のための人員増等により売上原価が上昇し、営業損失45,248千円となりました。

また、平成23年3月期第2四半期累計期間の業績は、各段階利益において、平成22年5月14日付の「平成22年3月期決算短信(非連結)」で発表した業績予想を上回りました。差異は下記の通りであります。

平成23年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績の差異(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想(A)	1,197	10	11	10	293	25
実績(B)	1,139	15	21	17	515	43
増減額(B-A)	58	5	10	7	-	-
増減率(%)	4.8	50.0	90.9	70.0	-	-
前期(平成22年3月期第2 四半期累計期間)実績	1,184	111	114	88	2,589	43

売上高は、前回予想を下回ることとなりました。一部キャラクターの待受サイトの落ち込みが当初想定以上だったこと等によるものです。

営業損益、経常損益、当期純損益は、前回予想数値より改善しました。主な要因は、広告宣伝費等の諸費用抑制によるものです。

(2) 財政状態に関する定性的情報

財政状態の分析

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産合計につきましては、前事業年度末に比べ44,426千円増加し、1,367,699千円となりました。流動資産は、制作勘定の減少等により1,165,868千円となりました。固定資産は、工具器具備品の増加等により201,831千円となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計につきましては、前事業年度末に比べ26,849千円増加し、353,147千円となりました。流動負債は、未払金の増加等により348,670千円となりました。固定負債は、4,477千円となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産につきましては、四半期純利益計上に伴う利益剰余金の増加等により、前事業年度末に比べ17,576千円増加し、1,014,551千円となりました。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ600千円減少しており、税引前四半期純利益は1,400千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始により、投資その他の資産の「敷金」が800千円減少しております。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,401	37,560
受取手形及び売掛金	485,311	517,706
商品	3,115	4,271
制作勘定	275,979	323,468
預け金	280,291	186,902
繰延税金資産	49,629	52,884
その他	29,690	72,684
貸倒引当金	7,552	12,420
流動資産合計	1,165,868	1,183,057
固定資産		
有形固定資産	105,216	39,214
無形固定資産	42,221	45,208
投資その他の資産		
敷金	51,393	52,793
その他	3,000	3,000
投資その他の資産合計	54,393	55,793
固定資産合計	201,831	140,215
資産合計	1,367,699	1,323,273
負債の部		
流動負債		
買掛金	228,336	244,568
未払法人税等	4,060	6,442
その他	116,272	70,809
流動負債合計	348,670	321,820
固定負債		
長期未払金	4,477	4,477
固定負債合計	4,477	4,477
負債合計	353,147	326,297
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,483,500	1,483,500
利益剰余金	468,948	486,524
株主資本合計	1,014,551	996,975
純資産合計	1,014,551	996,975
負債純資産合計	1,367,699	1,323,273

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	1,184,716	1,139,853
売上原価	725,482	784,110
売上総利益	459,234	355,743
販売費及び一般管理費	347,778	340,094
営業利益	111,455	15,648
営業外収益		
受取利息	1,937	1,017
業務受託手数料	1,111	-
固定資産受贈益	-	535
債務未請求益	-	2,312
未払配当金除斥益	-	799
雑収入	2,329	891
営業外収益合計	5,378	5,556
営業外費用		
支払利息	406	-
業務支援費用	238	-
事務所移転費用	1,772	-
営業外費用合計	2,417	-
経常利益	114,415	21,205
特別利益		
貸倒引当金戻入額	-	1,624
特別利益合計	-	1,624
特別損失		
固定資産除却損	-	10
減損損失	603	-
貸倒引当金繰入額	16,325	-
債務保証損失引当金繰入額	7,095	-
和解金	943	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	800
特別損失合計	24,968	810
税引前四半期純利益	89,447	22,019
法人税、住民税及び事業税	1,147	1,188
法人税等調整額	-	3,254
法人税等	1,147	4,442
四半期純利益	88,299	17,576

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	596,583	570,287
売上原価	372,740	395,771
売上総利益	223,843	174,516
販売費及び一般管理費	176,210	164,746
営業利益	47,632	9,769
営業外収益		
受取利息	1,008	560
業務受託手数料	277	-
債務未請求益	-	2,312
未払配当金除斥益	-	799
雑収入	1,794	479
営業外収益合計	3,080	4,150
営業外費用		
支払利息	179	-
業務支援費用	59	-
事務所移転費用	1,772	-
営業外費用合計	2,011	-
経常利益	48,701	13,920
特別利益		
特別利益合計	-	-
特別損失		
固定資産除却損	-	10
減損損失	603	-
貸倒引当金繰入額	16,325	-
債務保証損失引当金繰入額	7,095	-
和解金	943	-
特別損失合計	24,968	10
税引前四半期純利益	23,733	13,909
法人税、住民税及び事業税	575	615
法人税等調整額	-	3,254
法人税等	575	3,870
四半期純利益	23,157	10,039

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に主として、著作権元及び事業パートナー別に区分した事業組織を置き、組織別に事業戦略を立案し、展開しております。

したがって、当社は、事業組織を基礎としたセグメントから構成されており、「コンテンツ事業」、「クロスメディア事業」の2つを報告セグメントとしております。

「コンテンツ事業」は、スヌーピー、ミッフィー、リサとガスパール等の世界的な人気キャラクターを活用したサービスをプロデュースしており、モバイルコンテンツの配信を中核に、EC等を複合的に展開しています。

「クロスメディア事業」は、テレビ東京関連コンテンツのモバイル&インターネット展開を行っております。テレビ東京公式携帯サイト「てれともばいる」、テレビ東京アニメ公式携帯サイト「テレビ東京 アニメX」等の企画・運営、また、テレビ東京の公式ホームページ等の制作・運用受託を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	コンテンツ事業	クロスメディア事業	
売上高			
外部顧客への売上高	617,157	522,696	1,139,853
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	617,157	522,696	1,139,853
セグメント利益又は損失()	60,897	45,248	15,648

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(追加情報)

第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。